

## ホスピタルギャラリー[be]

基礎デザイン学科2年次の授業である「形態論Ⅱ」で作された造形作品を、徳島大学病院内のギャラリー [be] で展示しています。2008年の開始以降、本学学生作品や徳島県内のアーティストの作品を展示してきたプロジェクトです。ギャラリーに設置された感想ノートには、通院・入院中の患者やその家族、病院職員などたくさんの来場者が作品への思いを綴っています。ホスピタルギャラリーを通して、地域の方々にアートやデザインを身近に感じてもらう機会となっています。

- 大学病院で美大生の作品を展示
- 地域の方々からの反響。作品を通して交流が生まれる
- ムサビのこと、美大のことを知るきっかけとなる



徳島大学病院西病棟のエントランス、10mに満たない通路にギャラリー [be]がある



ガラスボックスに作品を展示して保護し、壁には作品を拡大した写真を展示している



最終授業では、作品を大学の大きな展示会場に並べ、一点一点講評していく



連携先

徳島大学病院



担当教員

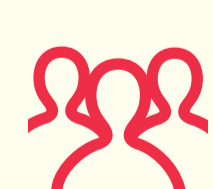
板東孝明

三澤遥 (基礎デザイン)



実施期間

2008年～



参加学生の学科

基礎デザイン学科



参加学生人数

24人